

水島臨海鉄道水島本線ロケーションシステム導入業務仕様書

I. 導入目的

水島臨海鉄道水島本線は、沿線住民の日常生活を支えるなどの重要な公共交通機関であるとともに、沿線には倉敷美観地区などの観光地や国際貿易港である水島港、グローバル化が進んでいる大手企業もあり、アフターコロナで訪日外国人の増加に対応できるよう、訪日外国人旅行者の利便性と緊急時を含めた安全性の向上を図るため、ロケーションシステム（列車接近表示・放送設備）の整備を行う。

II. 納入期限

令和7年4月からシステムの本格運用を開始できることとし、それに必要なシステムの環境整備及び運用試験を令和7年2月28日までに完了すること。

III. システムの概要

下記に示す要求機能は必要最小限の機能であり、その他について、プロポーザル参加者の提案を妨げるものではない。

1 要求機能

水島臨海鉄道のすべての旅客駅において、デジタルサイネージにより、列車（貨物及び旅客）の接近情報、到着時刻、遅延状況等の表示ができること。また、放送設備の整備により、列車の接近放送などを行い、利便性と安全性の向上を図ること。

訪日外国人への対応として、日本語のほか英語に対応すること。

2 システムの構成機器

(1) 車載装置

車載装置（LTE 通信内蔵）は、GPS と連動して位置情報を取得し、サーバーに配信する。この位置情報から列車の接近情報・遅延情報等をサイネージに反映させること。

GPS については、相対測位が可能なものとし、できる限り精度の高い測位法を採用すること。車載装置の操作はできる限り簡便とすること

(2) サーバー

サーバーは、システム事業者が用意するサーバーとするか、外部（商用）インターネット・データ・センターに配置すること。

(3) デジタルサイネージ

サーバーから位置情報を受信し、列車接近情報を表示・放送させること。また、列車時刻情報を表示するほか、運行管理端末から任意の案内を表示できるようにすること。数量・仕様等、詳細は別表による。

(4) その他

位置情報を取得する車載装置として GPS との連動を想定しているが、これ以外の車載装置の提案を妨げるものではない。

IV. その他

列車位置情報は、運行事業者が特段の制約なく無償で利用可能であること。

提案額には仕様を満たすための、システム設計、機器等の取付及び設置に関する調査・工事、運用試験費用、ダイヤ・駅位置情報登録及び申請費用等一切を含むものとする。また、デジタルサイネージの取付・設置は、朝・夕の混雑時を除き交通誘導警備員を配置して作業を行うこと。

なお、車載装置・デジタルサイネージの運用に必要な電源設置工事については発注者が対応する。

■必要機器数量

項目	数量	備考
運行管理端末	—	発注者が用意する
車載装置	13	旅客列車11、貨物列車2 旅客列車用は固定式・携帯式の指定はない。貨物列車は他社乗入に対応できる携帯式とする。 旅客列車は2両以上連結することがあるため、固定式の場合は位置情報の把握方法を検討すること。
ホーム用サイネージ (片面表示)	12	倉敷市駅、球場前駅、西富井駅(2)、福井駅、浦田駅、弥生駅(2)、栄駅、常盤駅、水島駅、三菱自工駅
改札口用サイネージ (片面表示)	1	倉敷市駅

■デジタルサイネージ仕様

項目	仕様
ホーム用	<ul style="list-style-type: none"> 吊下式（重量・設置方法等について設置箇所の安全性を検討すること） 視距離を10m程度と設定し、表示部画面の寸法は視認性に配慮した文字の大きさを表示できるものとし、画面はバータイプとすること 屋外仕様として防塵・防水機能を有すること 液晶ディスプレイで輝度1000カンデラ以上とする 音声案内はスピーカー出力15W以上とし、ボリューム調整ができること 音声は受注者が用意すること （その他）ホーム床面から2.1mの空間確保を基本とするため、サイネージ寸法・ホーム状況により、吊下げ式設置が困難な場合に備えた対応策を提案すること
改札口用	<ul style="list-style-type: none"> 壁面設置（重量・設置方法等について設置箇所の安全性を検討すること） 表示部画面の寸法は49インチ(16:9)以上で、屋内仕様でよい（視距離は4～5m程度と設定） 液晶ディスプレイで輝度700カンデラ以上とする 音声案内はスピーカー出力15W以上とし、ボリューム調整ができること 音声は受注者が用意すること

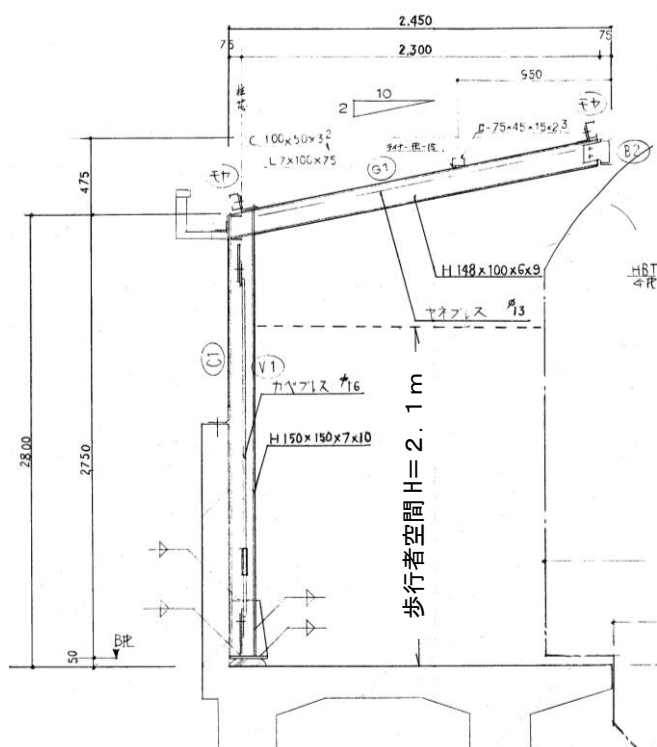
■ デジタルサイネージ必須機能一覧

番号	項目	備考
1	列車接近情報	ホーム用は、貨物・旅客列車の接近を表示・放送できること
2	列車時刻情報	旅客列車の出発時刻、遅延情報を表示できること
3	緊急情報	運行管理端末から、運休情報などを表示できること
4	その他お知らせ	運行管理端末からその他のお知らせを表示できること
5	多言語対応	日本語のほか、英語による表示・放送ができること

【参考】

- ・ 列車回数・・・旅客30往復。貨物3往復（令和6年1月現在、臨時便を除く）
- ・ 営業キロ・・・倉敷市駅～水島自工前：10.4 km
- ・ 駅間距離・・・0.4 km～2.0 km
- ・ 水島地区高架橋の標準的な駅、浦田駅のホームを参考として以下に掲載

水島地区高架橋の標準的な駅



浦田駅

